

使用上の注意

重要説明事項

AD-Tech COATは、汚れが全く付着しなくなるものではございません。基材によって期待できる効果をよく確認のうえ、ご購入下さい。

施工において注意が必要な基材・効果が期待できない基材がございます。下記説明事項の確認をお願いします。

ご使用できないものについて

表面に特殊加工を施している基材（例：防曇加工など）については、施工できないものがあります。事前によく確認をお願い致します。

床面は、親水性によって滑りやすくなる恐れがありますので、使用しないで下さい。

直接火があたるような箇所（例：ガスコンログリル内の網など）では、コーティング被膜が残っていたとしても、親水性による効果を発揮できず、防汚効果が期待できません。

上記以外の基材であっても、素材・形状・環境によっては、施工できない、もしくは効果を得られない可能性がございます。基材の説明事項・注意事項をよく読み、各メーカーにご確認をお願いします。

保管について

蓋をしっかりと閉め、直射日光を避けた冷暗所にて保管して下さい。

商品は、一部白濁、微粒子が浮遊・沈降が見られる場合がありますが品質に問題はありません。良く振ることで分散し通常にご使用いただけます。

保証について

本取扱説明書の内容は、弊社試験・事例に基づく内容であり、効果を保証するものではございません。

AD-Tech COATが原因で生じた問題（例：基材の変色・劣化）に関しては、製造者責任法に基づいて、ご対応致します。

施工においてのトラブルに関しましては、弊社では保証できません。

Q&A 施工・保管に関する質問

	施工後の乾燥待ち時間は必要ですか？	
Q 17	A	必要ありません。時間をおくと、コンパウンドが乾いて流しにくくなる為、施工後は、すぐに水をかけてコンパウンドを除去して下さい。オーバーコート剤を使用するときのみ、硬化時間が必要ですので、10分程度お待ち下さい。
	誰でも取り扱いできますか？	
Q 18	A	はい。特に講習や免許などは必要ありません。
	特別な機材、スキルは必要ありますか？	
Q 19	A	薄めのスポンジを使用しての手塗りでも問題はないですが、下地の汚れを除去しようとすると時間がかかります。ポリッシャーやオービタルサンダーなど、清掃機材の使用をお勧めします。スキルは必要ありません。しっかりと磨いて頂ければ結構です。
	ムラになることはありますか？	
Q 20	A	50ナノの薄い被膜であり、ムラになることはありえません。ただし、オーバーコートを使用したときは、膜に厚みができる分、ムラになる可能性がございます。
	基材が変色・劣化することはありませんか？	
Q 21	A	有機物が含まれていない為、AD-Tech COATが原因で基材が変色・劣化することはありません。
	天候の影響は受けませんか？	
Q 22	A	氷点下の時のみ作業不可です。晴天時や降雨時の作業は可能ですが、炎天下の作業は極度に乾燥が早くムラが出やすくなります。そのため、炎天下での作業は控え日陰で作業して下さい。
	密閉空間で作業しても大丈夫ですか？	
Q 23	A	揮発性物質がゼロですので問題ありません。マスクの着用も換気も必要ありません。
	コーティング後、塗装は可能ですか？	
Q 24	A	基本的に可能ですが、使用する塗料のメーカーへご確認お願い致します。
	他のコーティング剤との併用は可能ですか？	
Q 25	A	下塗剤としては、AD-Tech COATの効果がなくなってしまいますので、併用する意味がありません。 上塗剤としては、AD-Tech COATの効果はありますが、下地によっては被膜形成が難しい為、事前にご相談下さい。
	施工費用はいくらくらいですか？	
Q 26	A	全体の作業量、足場の必要性、などによって変動します。事前にご相談下さい。
	薬剤はどのように保管すればよいですか？	
Q 27	A	蓋をしっかりと閉め、直射日光を避けた冷暗所で保管して下さい。
	薬剤の消費期限はありますか？	
Q 28	A	保証期間は1年間です。上記保管方法をし開封後はできるだけ早めに使用して下さい。

Q&A その他の質問

	親水性とは何ですか？	
Q 29	A	基材と水の接触角度が50度以下を親水、90度以上を撥水と呼んでいます。親水は、水が基材になじみ、水の膜ができるのに対して、撥水は、基材が水を弾き、水の玉ができます。AD-Tech COAT塗布後は、10度以下の超親水と呼ばれる状態になります。親水性を強くすることで、汚れと基材の密着力よりも、水と基材の密着力の方が強くなり、水によって汚れが洗浄できるセルフクリーニング効果が生まれます。また、撥水状態のような大きな水玉ができにくいため、水垢やイオンデポジットの予防になります。
	研磨剤はどのくらいの大きさですか？	
Q 30	A	研磨剤の大きさは約2ミクロンのものを使用しております。研磨剤も、シリカやアルミナの微粒子であり無害です。また、基材に傷をつけるものではありません。
	熱には強いですか？	
Q 31	A	塗膜の耐熱温度は1300℃で、非常に強いです。ただし、水が蒸発する環境では、親水性の意味がありませんので、効果が半減します。
	摩擦には強いですか？	
Q 32	A	膜摺動摩擦試験にて、非常に強いことを確認しております。鉄道車両の洗車機によるブラッシングでも被膜は剥がれません。
	日本製ですか？	
Q 33	A	はい。
	シリカとは何ですか？	
Q 34	A	SiO ₂ です。ガラスの主成分であり、砂・岩・土の構成元素です。地球上で2番目に多い物質であり、大地を作っている成分とも言われています。化粧品・飲料水などにも含まれており、非常に安全で、無害な物質です。
	薬剤にいろいろな品番があるのはなぜですか？	
Q 35	A	基材の形状に合わせてより効果的なものをご使用頂けるようにしております。基本成分は、すべて、「水」+「シリカ」です。適正な薬剤が分からない場合は、事前にご相談下さい。